

千葉市立千葉高等学校

令和4年度 一般入学者選抜 本検査

小論文

問題用紙

(注意事項)

- 1 始めの指示があるまでは、開いてはいけません。
- 2 始めに、解答用紙に受検番号と氏名を記入しなさい。
- 3 答えは、全て解答用紙に書きなさい。
- 4 題名は必要ありません。本文のみを横書きで書きなさい。
- 5 各段落の書き始めは、行頭を1マスあけ、段落を区別しなさい。
- 6 句読点、記号（かぎかっこ等）は、1字として数えます。
- 7 数字やアルファベット等の表記は、次の例を参考にしなさい。

例) 20cm 1,000 万人 23.7℃ GPS CD-RW

20	cm	1,000	万	人	23	.	7	℃	GPS	CD	-	RW
----	----	-------	---	---	----	---	---	---	-----	----	---	----

- 8 検査開始後に、印刷のはっきりしないところや、ページが抜けているところがあれば、手を挙げなさい。
- 9 解答用紙だけ提出し、問題用紙は持ち帰りなさい。

我が国では外国人人口の増加に伴い、国籍や言語、文化などの相違を互いに尊重し理解しあい、ともにより楽しく、より豊かに暮らせる多文化共生社会の実現が重要とされてきている。千葉市では様々な外国人市民が暮らす国際都市としての発展を目指して、平成29年12月に「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」を策定し、「多文化共生のまちづくり」に向けた取組を推進している。

千葉市では多文化共生を「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定めている。

多文化共生について、以下の資料1～3をもとにあなたの考えを述べなさい。ただし、解答は次のア～オの指示に従って書きなさい。

ア 3段落構成とすること。

イ 多文化共生社会の実現において、私たちが抱えている課題としてどのようなことが考えられるか、第1段落に資料1～3から読み取れることがらを書きなさい。

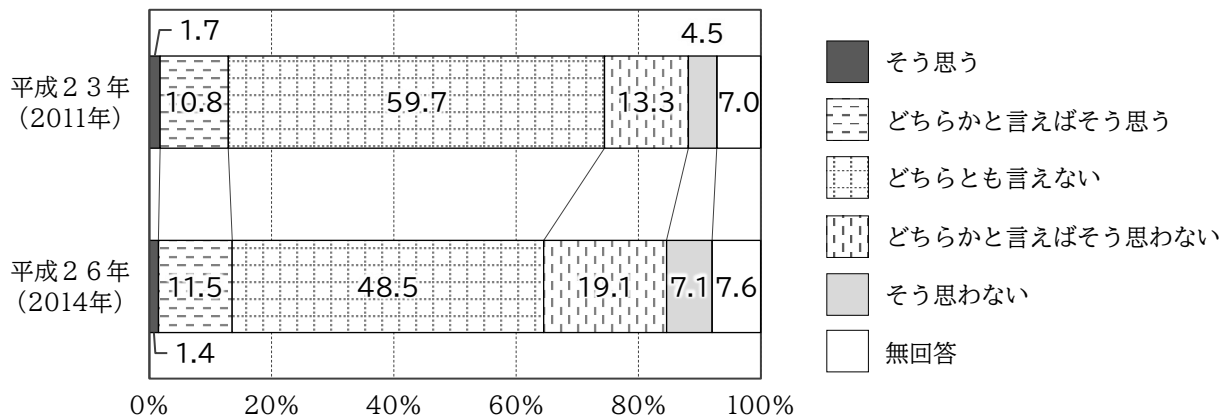
ウ 多文化共生社会の実現に向けて、これからどのような取組が必要か。第2段落にはあなた自身が取り組みたいことを、第3段落には国や地方自治体、企業等が取り組むべきと考えることを書きなさい。

エ 必ずしもすべての資料の内容に触れなくてもよい。

オ 字数は、改行に伴う空きマスを含めて500字以上600字以内とする。

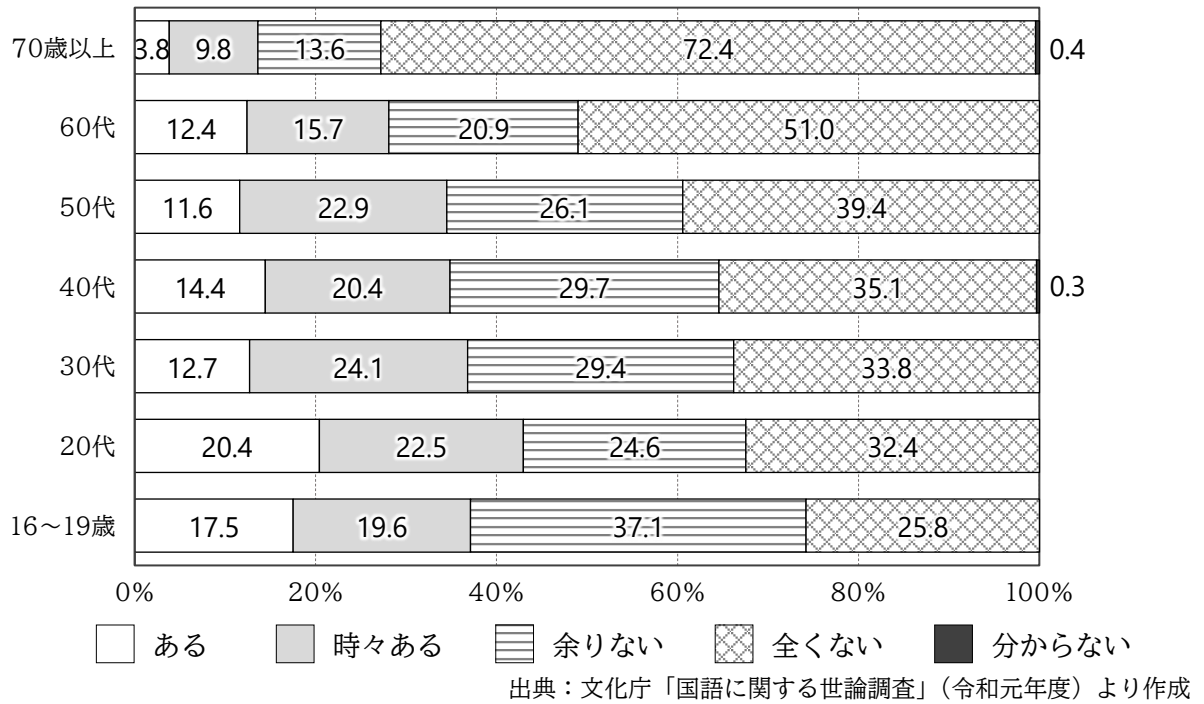
資料1 外国人市民と日本人市民の互いの理解

※「外国人市民と日本人市民の互いの理解が進んでいると思うか。」という問いに対して、「そう思う」から「そう思わない」までの5段階で回答を求めた結果。



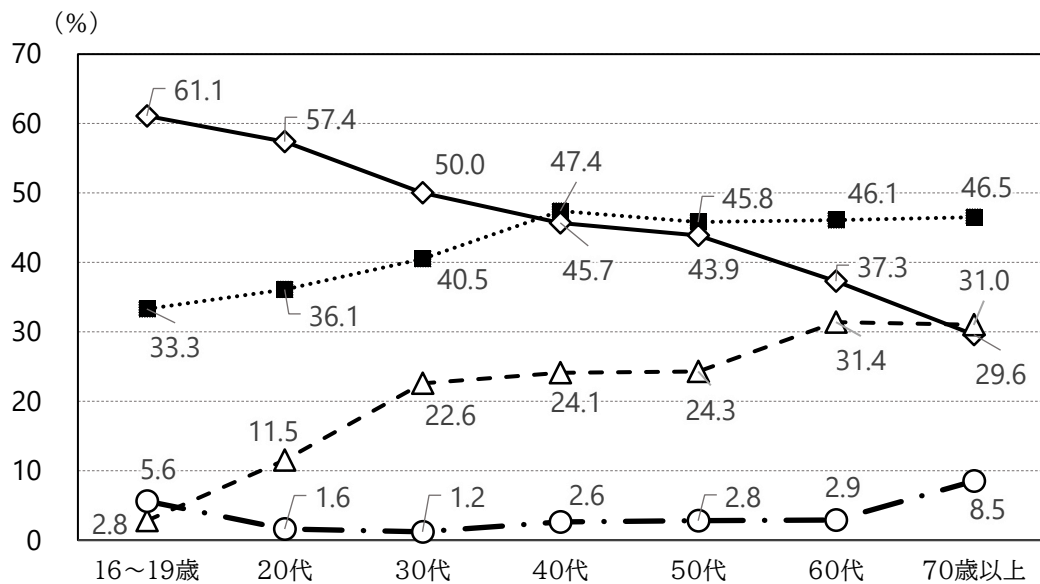
出典：「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」（平成29年）より作成

資料2 外国人と接する機会があるか（年齢別）



資料3 外国人とどのように意志の疎通を図っているか（年齢別）

※外国人と接する機会が「ある」、「時々ある」を選択した人に、外国人とどのように意思の疎通を図っているかを尋ねた結果。選択肢の中から幾つでも選択してもよいという条件で、それぞれを選択した割合。



- やさしい日本語で分かりやすく話そうとしている
- ◆— 英語などの外国語を使って話そうとしている
- △- 特に気を使うことなく日本語で話している
- 接することはあるが、話すことはない

出典：文化庁「国語に関する世論調査」（令和元年度）より作成